

補助事業番号 24-1-121

補助事業名 平成24年度 青少年の健やかな成長を育む活動補助事業

補助事業者名 公益社団法人 「小さな親切」運動本部

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東日本大震災の被災地およびそれ以外の地域の子どもたちの、健全な心の育成を助けるため、被災地に対しては、紙芝居読み聞かせ、音楽演奏などを行い、豊かな心づくりに貢献するほか、今後求められる支援の形を探る。

また被災地の現状を伝え、考えさせる紙芝居を作成し、被災地以外の全国の学校に配布したり上演するなど、他者を思いやる心、痛みを分かち合う心を育てる教育環境を整える。

(2) 実施内容

ア. 紙芝居制作のための調査活動 (一部)

被災された方の話に基づいた紙芝居を作るため、まずは現地(岩手県、宮城県)でヒアリング調査を実施。ここで得た情報は、同時に一部をホームページにも掲載した。

イ. 被災地慰問公演

東京・吉祥寺の藤村女子中学・高等学校児童文化部卒業生らの協力を得て、岩手県の被災された方々に音楽などを届けた。また、福島県の小学生に、声優による紙芝居の読み聞かせをプレゼントした。



ウ. 紙芝居「つなみのひ」制作

ア. で得た内容をもとに、小学校低学年を主な対象とした紙芝居を制作。全国の当団体会員や小学校に配布したほか、WEBサイト上で閲覧できるようにしている。

エ. 子ども向けWEBサイト開設、更新

ア. で得た情報や、紙芝居を広く知らせるためのWEBサイト「被災地を知ろう！防災を考えよう！」を開設した。



オ. 紙芝居「つなみのひ」を活用した授業等

ウ. で制作した紙芝居を活用し、被災地以外の小学校で、防災や助けあいの大切さを伝える授業や読み聞かせを実施。



2 予想される事業実施効果

ア. 紙芝居制作のための調査活動

実際に震災や津波にであった方々の体験談や話のエッセンスは、すでに紙芝居「つなみのひ」や、紙芝居授業や読み聞かせ時の講師の話に生きているが、今後調査の過程で収集した素材を活用した教育プログラムづくりに発展させていくことができると考えている。

イ. 被災地慰問公演

子どもから大人まで、震災や津波により様々な傷を負った被災地の方々が、音楽や紙芝居公演など非日常に触れることで、楽しむ心、他地域とのつながりを感じ、ひいてはコミュニケーションの大切さをあらためて考えてくれると期待できる。

ウ. 紙芝居「つなみのひ」制作

当団体の地方組織を通じて、教育委員会や近隣小学校や幼稚園に紹介してもらったところ、ぜひ使用したいので寄贈または貸出して欲しいとの声が多く上がっている。また地方組織会員による小学校での読み聞かせ、ボランティア団体による施設慰問等でもすでに活用が始まっており、今後さらなる広がりが見込まれている。

エ. 子ども向けWEBサイト開設、更新

紙芝居を寄贈していない学校や、授業等が行われない地域の子どもでも、紙芝

居や被災体験を読むことができるため、広範囲への情報伝達が期待される。今後は、さらに多くの情報や写真、ワークシート等の資料掲載を行うことで、授業への活用促進を行っていく。

オ. 紙芝居「つなみのひ」を活用した授業（読み聞かせ）

単に朗読するだけでなく、講師が子どもたちに発問し、被災地や防災、助けあいの心について考えさせながら進行している。そのため「大人も大変だから、自分ならこんなお手伝いをしたい」「自分が避難所で過ごすことになったら友達とケンカはしないで、みんなのためにできることがしたい」といった、具体的な意見が述べられ、被災地域や防災への理解が進んだと感じられる。今後授業を行う地域を拡大することで、さらに多くの子どもたちに被災地、また自分の地域を思いやる心を育てていくことが期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等

紙芝居「つなみのひ」 1,000部



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人「小さな親切」運動本部
(チイサナシンセツウインドウホンブ)

住所： 101-0061
東京都千代田区三崎町2-20-4

代表者： 代表理事 田中義具 (タナカヨシトモ)

担当者名： 木村京子 (キムラキョウコ)

電話番号： 03-3263-2866

F A X： 03-3263-3838

E-mail： skm@kindness.jp

U R L： <http://www.kindness.jp/>